

吉沢かつらの一般質問



子どもたちが希望を持って生きられる

積極的な子どもの貧困対策を

今年1月に「子どもの貧困対策法」が施行されました。日本の子どもの貧困率は上昇し続け、先進国のなかでは上位となり問題になっています。貧困によって「将来に希望が持てない」という子どもたちも増えています。



手当削減、消費税増税など貧困と格差をさらに広げるものばかり。法律を形骸化させず実効性あるものにするため、国も市も積極的な対策に取り組むべきです。

実態把握と対策に取り組むべき

私は「法律では自治体の責務も明記されている。市内の実態調査をし、市として積極的な対策に取り組むべき」と質しました。市長は「親の収入で将来を左右されることはあってはならない。情報を把握しながら対策を検討する」と答えました。

国の施策は生活保護費削減、福祉

減額が続く生活保護費と福祉手当

今回の一般質問では、昨年からの削減されている生活保護費や4年連続で減額されている児童扶養手当、各種障害福祉手当の問題についても取り上げました。消費税増税、円安による生活必需品の値上げで、生活が厳しくなっている受給世帯の状況や影響について、市長に質しました。

ホームページ見てね!

共産党市議団のホームページは政策や活動を報告しています。また、入間市議会ホームページでは議会の様子を動画配信しています。ぜひ、ご覧くださいね!



子どもたちが遊べる公園の整備を

「高倉や扇町屋に公園が少ない」との声が寄せられています。私が「子どもが遊べる公園の整備を」と求めると、市長は「地権者の協力など条件が整えば公園整備は可能」と答えました。

日本共産党市議会議員



吉沢かつらの市議会レポート

2014年夏号

こんにちは。蒸し暑い日が続いていますが、元気にお過ごしでしょうか。毎年夏バテをしている私。「今年こそ健康な夏を過ごそう!」と意気込んでいますが、どうなることやら…。さて、6月議会が閉会いたしましたので、議会の様子をご報告させていただきます。



集団的自衛権行使に反対!

6月議会では、共産党市議団が「集団的自衛権行使容認に反対する決議」を提案しました。また、市民からも同じ趣旨の意見書提出を求める陳情が議長あてに提出されました。しかし最大会派の賛同を得られず、提出には至りませんでした。残念な結果となりましたが、引き続き「解釈

改憲反対!」「憲法9条守れ!」の運動と世論を広げていく必要があります。

私は、さっそく6月20日に入間市駅前で後援会のみなさんと署名活動を行いました。高校生からご高齢の方まで、沢山の人が署名に協力して下さいました。感謝申し上げます。

世論調査でも過半数の国民が「集団的自衛権行使容認」に反対と答えています。国民の声も聞かずに、閣議決定で解釈改憲を強行しようとする政権と党への批判は強まるばかりです。

青年CAFÉ

震災ボランティア報告だよ!
★日時・8月10日(日)12時~
★参加費・500円(昼食代)
★場所・共産党事務所

入間市駅で宣伝を行っています。見かけたら気軽に声をかけて下さい!

アイポットビル管理会社民事再生へ 第2回定例議会

貸付金返済と中心市街地再活性化

6月議会は、全議案、請願・意見書を可決、(株)入間セントラル民事再生・調査特別委員会を設置しました。

市民・市議会に報告なし

映画館の入る「アイポット」6階建てビルは、人口20万人の中心市街地の「商業核を形成する施設」の一つとして豊岡第一南地区市街地再開発事業で建設されました。平成12年末、近隣にない9スクリーン・2039席でオープン。しかし、19年には40キロ圏内に映画館が2.5倍となり、売り上げが30%強落ち込みました。

「東町留保地」が災害拠点施設へ

防衛省が入間基地に「災害対策拠点施設」を整備する方向で、基地に隣接する東町側留保地(約28ヘクタール)を候補地として、財務省と整備計画や用地取得について協議している旨の報告が入間市にありました。「自衛隊病院」の整備も計画されています。市では同留保地の利用については、緑地帯の緩衝ゾーンと、総合運動公園や病院などの医療ゾーンにする計画ですが、この計画との矛盾が生じています。入間基地の強化と環境悪化が懸念されます。

入間セントラルは、3億円を借りている入間市に対し、返済繰り延べと26年度に資金が枯渇の見通しを伝えました。しかし、入間市は5月末16億円の負債で民事再生法の申請がされるまで、市議会に報告しませんでした。

過大な中心市街地商業核

入間市の人口は15万人から減少の段階に入り、しかも大店法の改悪で大型店が出店、中心市街地から離れたところへ買い物が移り、人口20万人の中心市街地商業核は今や幻となっています。

「手話言語法」請願可決

「入間市視聴覚障害者の会」から「手話言語法制定を国に求める意見書」に関する請願が提出され、全会一致で採択。これを受けた意見書も採択されました。請願は「手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話を普及、研究することのできる環境整備をすること」等を国に求めるものです。手話はろう学校では使用が禁止されてきたこともあり、共産党も、積極的に署名に取り組みました。

再生への対応と展望

裁判所から「再生案」が示されると、入間市の対応と市議会の判断が求められます。人口減少・経済の停滞、郊外へ的大型店出店で展望が持てない状況ですが、中心市街地の衰退傾向にどう歯止めをかけるのが重要問題です。3億円貸付の判断と返済見通し等を調査する特別委員会が、8月中旬まで開かれます。傍聴において下さい。



請願署名への押印が廃止

今議会では、これまで必要だった請願署名への押印廃止が全会一致で可決されました。入間市では近隣市のなかで唯一押印が必要とされてきました。請願署名に押印が必要とされるため市民の意見表明への障害の一つとなっていました。これに対し請願署名への押印廃止を求める陳情がたびたび提出されてきました。また、市議会が議会改革に取り組むなかで共産党入間市議団は、国会・県議会と同様に押印を廃止することを一貫して主張してきました。

集団的自衛権行使に反対

今議会に共産党は「集団的自衛権行使容認に反対する決議」を提案。また同趣旨の陳情も市民から提出されました。しかし、自民クラブの反対で提出には至りませんでした。全国では158を超える自治体が「反対」「慎重審議」を求める意見書を提出しています。

集団的自衛権行使は、自衛隊が海外で戦闘活動ができるためのもので、「戦争への道」に他なりません。入間市には入間基地の隊員も多く暮らしています。日本国民・入間市民が犠牲になる集団的自衛権行使は絶対に認められません。反対の声を上げましょう。

共産党議員の一般質問

小出わたる議員

原発再稼働反対、学童保育年齢拡大
石田よしお議員
法人市民税の減額、内部留保の活用
安道よし子議員
教育の独立守り、居場所・サロンの
吉沢かつら議員
生保・福祉手当、子どもの貧困対策

日本共産党市議会報告

2014年7月 発行/日本共産党入間市議団
連絡先/電話2932-5688 Fax2932-2840

石田よしお 2964-4048 070(5086)2075
安道よし子 2962-8082 090(4811)0553
吉沢かつら 2964-0208 090(3514)3077
小出わたる 2932-7884 090(6542)3883